

役場新庁舎を訪れ町の仕事を学ぶ

津別小学校3年生新庁舎見学

8月30日、津別小学校3年生が課外授業で、役場新庁舎を訪れました。

議会議事堂にて佐藤町長より木が特徴である新庁舎や町の仕事についての説明があり、その後、新庁舎の各部屋を見て回りました。

最後には多くの児童から役場に対しての質問があり、町の仕事に対する理解を深めました。



地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。

東京2020のオリパラも、色々な感動を作った終わったと感じます。

その中で、「ボッチャ」という種目の個人戦で、杉村英孝選手が金メダルを取りました。ネットニュースなどで彼の経歴などが紹介されていましたが、夢はクラスや障がいの有無などを問わない「ボッチャ無差別級大会」の開催だそうです。

ボッチャのルールは、「手で投げる」とはルールには書かれていません。単純にボールが転がればよい話で、「足で蹴る」でも構いません。また、ボールの外周と重さの規定はありませんが、柔らかさの規定はありますが、極端なことを言うと、周りが鉄でできていても、周りが綿でできていても、大きさと重さが基準に

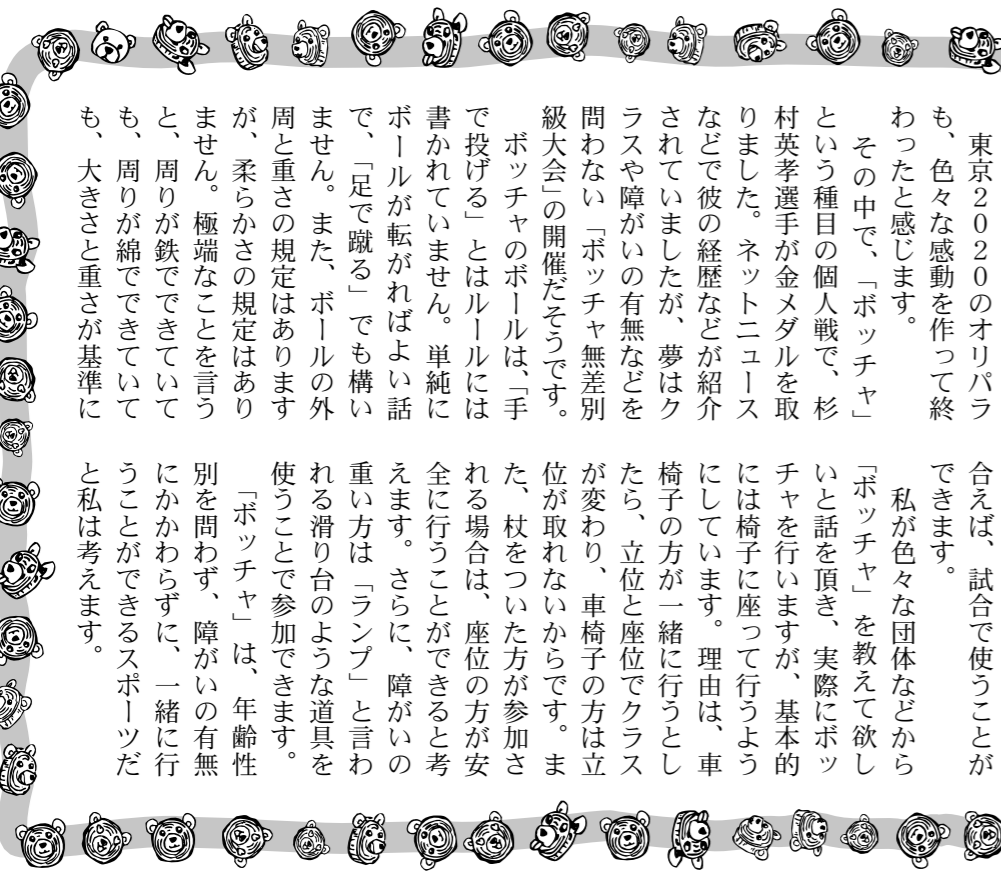
合えば、試合で使うことができます。

私が色々な団体などから「ボッチャ」を教えて欲しいと話を頂き、実際にボッチャを行います。基本的には椅子に座って行うようにしています。理由は、車椅子の方が一緒に行うとしたら、立位と座位でクラスが変わり、車椅子の方は立位が取れないからです。また、杖をついた方が参加される場合は、座位の方が安全に行うことができます。さらに、障がいの重い方は「ランプ」と言われる滑り台のような道具を使うことで参加できます。

「ボッチャ」は、年齢性別を問わず、障がいの有無にかかわらずに、一緒に行うことができるスポーツだと私は考えます。



グループホームほのぼの勤務。北海道ボッチャ協会公認審判員・普及指導員、日本障がい者スポーツ協会公認スポーツ指導員



津別町のふるさと納税特集 2021

現在インターネットで公開中！町のHPをご覧ください

今回は、ふるさと納税制度の概要と、昨年度のふるさと納税第一位の返礼品だった、「特別栽培玉ねぎ」を農家さんおすすめの食べ方でいただきました。

また、あのメダルケースを作った榎山上木工の今、そして津別町唯一の主食用米農家さんも取材しました。津別町のふるさと納税の今をお届けします！



2021年9月号
津別町のふるさと納税特集2021

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新
《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》
問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎ 77-8374



津別の夏の夜空を彩る

つべつ花火大会

9月4日、河岸公園で夏の風物詩である花火が打ち上げられました。

NPO法人津別観光協会主催のつべつ花火大会は、午後8時に打ち上げられ、夏の夜空を彩る140発の花火が町を大いに盛り上げました。



津別ライオンズクラブより紅葉マラソン大会へ寄附

寄付金贈呈式

9月17日、つべつ紅葉マラソン大会を後援している津別ライオンズクラブより、マラソン大会への寄附がありました。

寄附金は、参加賞やお楽しみ抽選会の景品などに使用される予定です。